

Ohta 式: 摂食・嚥下能力自立介護度診断(アイスモナカ)

高齢者氏名: [年:], [体重:] 糖尿病+? -、 年 月 日

札幌太田病院 () 病棟、セージュ山の手 (F)、セージュ新 (F)、外来

[実施者:], [記載者:]

意識: 意識障害 () 1. 開口能力 2. 開口拒否

3. 開口のまま 4. 吐き出す 5. 誤嚥の危険あり実施せず

意識は明瞭であるが開口を拒否 eye contact (+、-) 序々に開口

姿勢: うつむきの姿勢(椅子上)を正す必要: あり、 なし

臥床状態: ベット上にて上向き、右・左向ける必要性: あり なし

栄養状態: 脱水状態: 根拠 ⇒

アイスへの関心: 見る、見ない ()、拒否する態度 ()

説明に反応 + -、拒否する言動()

目前に提示して反応 + -、 払いどける動作()

閉じている唇にごく少量を触れさせて反応 +、-

舌の反応(甘み、冷たさ (+、-)・・スプーンでごく少量を舌にぬり舌の反応を見る

無反応 舌が動く 目が開く 口を開く 表情に動きでる

無表情 喜びの表情、咀嚼が盛んである、おいしいと語る、追加を求める

嚥下運動: + -、 嚥下能力の応じて1回補給量の増加: あり→ なし

口内にためる、 むせる、 咳き込む 誤えん・誤飲の恐れ

スプーンの必要性(なし、あり: 協力程度 一回量: 口唇からもれる +、-))

モナカ皮をかみ切る能力 (++、+、土、干、-) 皮をむく必要性(あり、なし)

1ヶ 2ヶ 3ヶ 4ヶ 6ヶ より多く

指(清潔、汚染)の保持能力 (++、+、土、干、-)、振戦 (+、土、-))

腕で自力で口へ運ぶ能力 (++、+、-、介助にて運べる、介助に抵抗)

喜び・感謝の言語表現()。拒否・攻撃の言動、行為

ケアプランの問題点: 体重の変化: Kg ⇒ Kg、()ヶ月で()Kg 増減

全身状態の変化 改善傾向項目

悪化傾向項目 (食欲、摂食の自立度、便秘、下痢)

今後の方針 食事の内容 介助にかかる時間 見守りの程度

食事姿勢 介助テーブル 車椅子